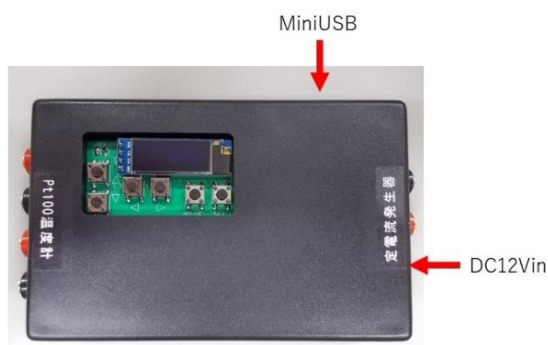


定電流発生器取り扱い説明書

1. 概要

本機器は定電流発生器と Pt100 温度計の機能を備える。接続端子は右側面に定電流発生器用端子 (Iout1、Iout2)、左側面に Pt100 温度計用端子 (V+、V-、I+、I-) がある。電源は DC 12V を右側面に接続する。必要に応じて MiniUSB 端子に PC を接続することで PC からコントロールすることができる。本体上面に備えたディスプレイを見ながらカーソルボタンと MODE ボタン、SET ボタンによって基本操作を行うことができる。



2. 表示

ディスプレイ上段には Pt100 温度計の測定値、下段には定電流発生器の設定が表示される。電流の出力方向は Iout1 から Iout2 に流れる向きを+として定義する。出力／非出力の表示は出力時に*がディスプレイ右端に表示される。

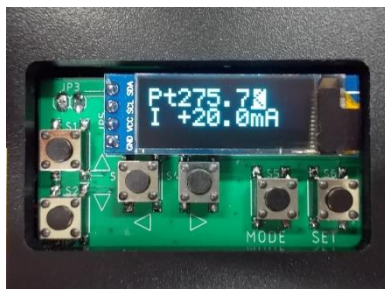


Pt100 温度計は端子が接続されていない場合や断線した場合には温度表示のみ「---.-K」となる。定電流発生器は出力設定時において端子が接続されていない場合や断線した場合には電流値表示が「---.-mA」となる。この場合で変更可能な設定値は「出力／非出力」のみとなる。



3. Pt100 温度計

MODE ボタンを押して単位部分の表示が反転した状態で△ボタン・▽ボタンを押すことで表示単位を「K」→「Ω」→「mV」と変更することができる。SET ボタンを押すとその時の表示単位が次回起動時の初期値として記憶される。



4. 定電流発生器

MODE ボタンを押すごとに操作対象が「Pt100 表示単位」→「電流出力方向」→「電流値」→「出力 ON/OFF」と移動する。「出力 ON/OFF」からさらに MODE ボタンを押すと初期状態に戻り、編集モードが終了する。操作したい項目を選んだうえで△または▽を押して値を変更する。電流値を変更する場合は◀または▶を押して変更する桁を移動することができる。変更内容は SET ボタンを押した時点で出力端子に反映される。SET ボタンを押したときの内容は出力 ON/OFF を除いて次回起動時の初期値として保存される。出力 ON/OFF のみ起動時は OFF が初期値となっている。SET ボタンを押さないまま MODE ボタンを押して編集モードを終了すると、それまでの修正内容が破棄されるので注意すること。

